

昭和五年一月提出

昭和四年度水稻新品種育成試驗經過概況

北海道農事試驗場

農林省  
指定  
水稻新品種育成試驗成績  
昭和四年度

目次

(一) 耕種梗概

一頁

(二) 一般試驗經過概要

一

(三) 低溫地栽培に依る交配用品種選定試驗

三

(四) 交配操作

六

(五) 雜種第一代養成

八

(六) 低溫地栽培に依る雜種第二代個体選抜試驗

九

(七) 低溫地栽培に依る雜種第三代系統及個体選抜試驗

一四

(八) 低溫地栽培に依る雜種第四代以後系統育成試驗

一七

(九) 低溫地栽培に依る未固定系統生産力檢定試驗

二〇

(一〇) 交配用母本栽培

二三

(一一) 特殊試驗

二五

附昭和四年氣象表

(一) 耕種梗概

設計書ト同一ナルヲ以テ省略セリ

(二) 一般試験經過概要

本年度ハ本事業創設後第三年目ニ属シ圃場ノ整理モ略  
ボ完成シ各種試験共設計通り遂行スルヲ得タリ  
水稻ノ一般生育状況ハ播種當時(五月中旬)気候良好ナ  
リシヲ以テ、苗代直播田共発芽良整其後ノ生育何レモ  
順調ニ進ミ、移植田ニアリテハ六月中下旬挿秧セリ、挿  
秧當時ハ一時気温低カリシモ六月末ヨリ気温上昇シ  
七月中高温ナリシヲ以テ草丈次第ニ伸長シ作況良好  
トナリシモ分蘖茎数ハ平年ニ比シ尚少カリキ 害虫

泥負出ハ六七月ニ亘リ各試験ニ發生セルモ防除ニ努  
メタルヲ以テ被害概シテ少カリキ、而シテ尔後高温ヲ  
持續セルタメ生育大イニ促進セラレ、直播移植共平年  
ヨリ数日早ク出穂期ニ達シタリ、出穂後ノ天候ハ稍適  
順ヲ欠ギ曇雨天降水量多ク且ツ日照時数少ク、概シテ  
低温ナリシヲ以テ品種又ハ系統ニヨリ稲熟病胡麻葉  
枯病ノ発生多キモ、或ハ倒伏ノ甚シキモノヲ生ジ又成  
熟モ多少妨ゲラレタリ然レドモ成熟期ハ促進シタリ  
シタメ平年ニ比シ稍早キヲ示セリ  
水稻ノ生育状況上述ノ如クナリシヲ以テ各試験共故  
障少ナク概シテ順調ニ試験ヲ施行スルヲ得タリ

(三) 低温地栽培ニヨル交配用品種選定試験

一目的 低温適應性强キ交配用品種ヲ選定セントス

二試験方法

- (一) 供用面積 六畝一五歩
- (二) 供試品種數 三一品種 八七系
- (三) 試験區 一區面積 二坪五合
- (四) 標準區 試驗區五區每二區配置

三試験經過ノ概況

本試験ノ品種及系統ハ五月十日苗代ニ播種シ六月十四日挿秧セリ 苗代<sup>中</sup>生育ハ順調ニシテ特記スベキ故障ナク、本田ニ於テハ挿秧當時低温ノタメ一時生育阻害セラレタルモ其後、氣候<sup>良好</sup>高温ナリシタメ生育

促進ニ出穂モ早年ニ比シ稍早カリシガ出穂後氣候不

順低温ニシテ且ツ日照少カリシニヨリ多少成熟ヲ妨  
 ゲラレタリ、稻熱病胡麻葉枯病ハ品種又ハ系統ニヨリ  
 發生セルモ被害激甚ノモノナカリキ

四試験成績ノ概括

品種ニ於テ出穂始ノ最モ早キハ走坊主仙北次位ハ  
 早生坊主第三位ハ源坊主北見チンコニシテ胆振早稻  
 魁等順次ニ出穂期、最モ早キハ仙北次位ハ走坊主早  
 稻坊主第三位ハ源坊主ニシテ胆振早稻十勝黒毛北見  
 チンコ順次ニ出穂揃、最モ早キハ仙北次位ハ早生チ  
 ンコ、北見チンコ、小坊主チンコ坊主等成熟期最モ早キ

ハ早生坊主、次位胆振早稲、小坊主、十勝、チニコ、第三位ハ  
 仙北魁、十勝黒毛、北見赤毛等ナリ之レヲ前年ノ成績  
 ト比較スルトキハ其早晚ノ順位ニ一致セザルモノアリ  
 ルモ大体ニ於テ前年出穂及成熟ノ早カリシモノハ本  
 年ニ於テモ早キヲ示セリ  
 交配用早熟品種ヲ選出スル目的ヲ以テ本道中部以北  
 ノ各試験機関ヨリ蒐集セル系統ニ於テ出穂成熟共最  
 モ早カリシハ早生坊主(本一)ナリキ而シテ各系統ヲ品  
 種上ヨリ考察スル時ハ出穂ノ早キモノハ十勝黒毛胆  
 振早稲、チニコ坊主ニ属スル系統ニ多ク成熟期早キモノ  
 ハ早生坊主、十勝黒毛ニ属スル系統ニ多シ

前年ノ交配用母本栽培成績ニ於テ報告セル早生坊主  
 早熟系ノ出穂並ニ成熟期ハ前年ノ成績ト同ジク本道  
 現存品種中最モ早熟ナルコトヲ確メタリ即チ一本植  
 栽培ニ於ケル其出穂期ハ早生坊主、走坊主ニ比シ十三  
 日間早ク直播栽培ニ於ケル出穂期ハ早生坊主ヨリモ  
 七日走坊主ヨリモ八日早ク成熟期ハ早生坊主ヨリモ  
 八日走坊主ヨリモ十七日間早キヲ示セリ

四 交 配 操 作

一 目的 低温地栽培ニ適スル最早熟<sup>種及早熟</sup>育種ヲ育成セ  
 ンガタメ人工交配ヲ行ハントス

二 交配組合数 四四組

三 試驗經過ノ概况

氣候順調ナリシタノ箱ノ生育良好ニシテ交配操作  
上ニ支障ヲ来サズ又晩熟種府縣品種ニ対シテハ短日  
法ヲ行ヒテ出穂ノ促進ヲ計リ本道ノ~~最~~最熟種トノ交  
配ヲ容易ニ行フコトヲ得タリ

四 試驗成績ノ概括

前述セルガ如ク氣候順調ナリシヲ以テ交配操作上ノ  
支障少ク結實歩合ハ昨年ヨリ稍良好ニシテ五五・二%  
ヲ示セリ其成績ノ概括尤ノ如シ

主要育種目的	交配組合	授種數	粉粒數	結實粒數	結實歩合%	備考
	二七					
最早熟種						

計	早熟種ノ收量増加	一七	二四	二五八	一七七	六八六
	四四	五八	六三八	三五二	五五二	

現中  
育種

(五) 雜種第一代ノ養成

- 一 目的 雜種第一代ヲ養成シ其特性ヲ調査セントス
- 二 組合教及個体數 四〇組 三三四個体
- 三 試驗經過ノ概况

五月十五日播種シ發芽稍良整ナリシモ茶芽後枯死  
セルモノアリ苗代中ハ氣候良好ナリシタノ生育概シ  
テ良好ニシテ六月十九日挿秧セリ本田ニ於テハ生育  
順調ニシテ害虫及病害ノ被害少ク特記スベキ故障ナ  
カリキ

四 試驗成績ノ概括

雜種第一代ノ個体ハ兩親ヨリ生育旺盛ニシテ稈長長ク全量穗重共ニ重ク出穂及成熟期ハ兩親ノ中間ニアルモノヲキリ認メタリ其栽植調査個体数九ノ如シ

主要育種目的	交配組合数	栽植調査個体数	備考
最取早熟種	一七	八四	
早熟種ノ収量増加	二三	二五〇	
計	四〇	三三四	

(六) 低温地栽培ニ依ル雜種第二代個体選抜試驗  
 一目的 低温地栽培ニ適スル最早熟種及早熟種ヲ收種  
 ヲ育成センガタリ雜種第二代中ヨリ有望個体ヲ選抜

セントス

二 試驗方法

(イ) 供用面積 一反五畝

(ロ) 組合数及栽植個体数 二三組 三〇七八七個体

(ハ) 試驗區 一區制

(ニ) 標準區 標準區ハ各組合ノ兩側ニ配置

三 試驗経過ノ概况

本試驗各系統ハ五月十一日播種シ發芽良整苗代中ノ氣候良好ナリシタノ生育順調ニシテ六月十八日挿秧セリ本田ニ於テハ挿秧當時低温ナリシモ其後氣候通順ニシテ病害虫ニ犯サレタルモノ極メテ少ク

生育良好ニシテ特記スベキ障害ナク調査ヲ順調ニ行  
 フコトラ得タリ  
 四試験成績ノ概括

本試験ノ最早熟ヲ目的トスル組合ニ於テハ特殊早  
 生型ト認ムベキモノ比較的少ナカリシヲ以テ選抜ニ  
 當リ特殊早生型ノ外早生型ノ有望ト認ムルモノ此選  
 抜セリ早熟種ノ收量増加ヲ目的トスル組合ニ於テハ  
 有望ト認ムベキモノヲ夫々選抜セリ

本試験ハ尚調査完了セザルモ圃場選抜成績ノ概括ヲ  
 表示スレバ左ノ如シ

栽培 条件	主要 育種 目的	交配 番号	交配 組合	栽植 個数	圃場 選抜 個数	早生型 中生型 晩生型 合計
----------	----------------	----------	----------	----------	----------------	-------------------------

ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
北交四	北交三	北交二	北交一	北交九	北交八	北交七	北交六	北交五	北交四	北交三	北交二	北交一	北交一	北交一	北交一	北交一	北交一	北交一
栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋	栗柄橋
二四〇	九六〇	一〇〇八	一三〇	一三二五	一三五〇	七五〇	一五七〇	一三〇〇	九六〇	一四四〇	九三〇	一七八二	一〇六〇	一四八〇	九三〇	一〇二〇	二四七〇	二八〇〇
五	三九	二四	一三	五	三九	二四	三三	一三	一四	三六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六
三一	九三	八〇	一三二	八六	七二	一一	二九	一三九	九四	七三	一〇八	二二一	一〇八	一〇八	一〇九	一〇九	一〇九	一〇九
三六	一三二	一〇四	一四五	九一	一一一	三六	一四八	一〇八	一〇九	一〇九	一〇九	一〇九	一〇九	一〇九	一〇九	一〇九	一〇九	一〇九

合	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
計	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
ニ三組	北交二四	北交三三	北交二二	北交二B	北交二A	北交三B	北交九B	北交九A	北交二八	北交一八	北交七B	北交七A	北交一六	北交二五	
	早生坊主	早生坊主	坊主二号	坊主二号	早生坊主	坊主二号	坊主二号	坊主二号	坊主二号	坊主二号	小川糯	走坊主	走坊主	小川糯	
	坊主六号	坊主六号	走坊主	早生坊主	坊主二号	坊主二号	坊主二号	坊主二号	坊主二号	坊主二号	坊主二号	坊主二号	坊主二号	坊主二号	坊主二号
三〇七八七	三六〇	九六〇	二四〇	四八〇	一五六〇	一四四〇	一七六〇	三六〇	一九二〇	一三九〇	七二〇	五七六	四八〇	一一五二	
三二九			四		七	五				一四					
二二三〇	二〇	三二	一一三	三四	八四	五六	七三	一三	四	六三	七〇	九六	三七	一六四	
二五九	二〇	三二	一一七	三四	九一	六一	七二	一三	四	七七	七〇	九六	三七	一六四	

(七) 低温栽培 = 依ル 雑種第三代系統及 個体選抜試験  
 一目的 低温地栽培 = 適スル 最早熟種及 早熟多收種  
 及 育成センガタノ 雑種第三代中ヨリ 有望系統  
 及 個体ヲ 選抜セントス

二 試験方法  
 (イ) 供用面積 五反八畝一〇歩  
 (ロ) 組合数及栽植系統数 九組 一〇〇一系  
 (ハ) 試験區 一區制 一區面積一坪四合  
 (ニ) 標準區 標準區ハ 供試系統數一〇一區毎一區配置  
 三 試験經過概況

本試験ノ各系統ハ五月十日播種シ 籾芽良整ニシテ  
 苗代中ノ生育ハ良好ニシ 挿秧ハ六月十五日ヨリ十七日ニ

直リテ行ヒタリ挿秧當時ハ一時低温ナリシモ其後ノ氣  
 候適順ナリシヲ以テ生育順調經過セリ而シテ病害虫  
 概シテ少カリシモ北一交五(北見赤毛)ノ系統中ニハ稻熱  
 病ノ發生激甚ナルモノアルヲ認メタリ

四 試驗成績ノ概括

北交一A(母走坊主 父早生坊主) 北交B(父早生坊主 母走坊主) 北交二A(父走坊主 母走坊主) 北交二B(父走坊主 母走坊主)  
 ニ於テハ特殊早生型ノ未固定系統ト認ムハキモノ十  
 キヲ以テ特殊早生型ニシテ無臭米ノ有望個体ヲ選抜  
 セリ而シテ米粒ノ臭氣ノ有無鑑別ニハ非常ニ困難ヲ  
 感ゼタリ

北交三B(母胆振早稻 父走坊主) 北交四A(父走坊主 母十勝黒毛) 北交四B(母十勝黒毛 父走坊主) 北交五(父北見赤毛 母走坊主)

ニ於テハ特殊早生型ト認ムベキ未固定系統及個体ノ有  
 望ナルモノヲ選抜セリ

北交六(母胆振早稻 父早生坊主) 於テハ特殊早生型ノ未固定系統ト認ム

バキモノナキヲ以テ特殊早生型ニシテ無臭米ノ有望

個体ヲ選抜セリ

北交八(母小川糯 父走坊主) 於テハ糯種ニ属スル特殊早生型ノ未固

定系統ヲ選抜セリ

北交九(母坊主大号 父走坊主) 於テハ特殊早生型及早生型ニ属スル未

固定系統及個体ノ有望ナルモノヲ選抜セリ

北交〇(母源坊主 父坊主大号) 於テハ特殊早生型及早生型ニ属スル未

固定及個体ノ有望ナルモノヲ選抜セリ而シテ本組合

ニハ特殊早生型中特ニ早生ト認めベキモノアリタルヲ以テ選抜ニ努メタリ  
 本試験ハ調査尚完了セザルモ第二次選抜成績ノ概括ヲ表示スレバ如シ

栽培 條件	主要育 種目的	交配 番号	母	父	栽培 系統 數	第二次選抜系統數			合計
						特殊 早生型	早生 中生 型	晚生 型	
北交 六	早交 九	北交 一	早生坊主	早生坊主	二八	一	四一	四一	四一
北交 五	早交 九	北交 一	早生坊主	早生坊主	三〇	七	五〇	五七	五〇
北交 四B	早交 九	北交 一	早生坊主	早生坊主	七〇	五	一	五	五
北交 四A	早交 九	北交 一	早生坊主	早生坊主	一六六	二二	五九	二一	二九
北交 三B	早交 九	北交 一	早生坊主	早生坊主	四六	九	二九	一	二九
北交 三A	早交 九	北交 一	早生坊主	早生坊主	二〇	一	二四	一	二四
北交 二B	早交 九	北交 一	早生坊主	早生坊主	八二	一	一〇	一	一〇
北交 二A	早交 九	北交 一	早生坊主	早生坊主	五二	一	二	一	二
北交 B	早交 九	北交 一	早生坊主	早生坊主	五九	一	二	一	二
合計									

合計	北交 一	北交 九	北交 八
源坊主	源坊主	源坊主	源坊主
坊主六号	坊主六号	坊主六号	坊主六号
坊主七号	坊主七号	坊主七号	坊主七号
一〇	七	四	五
二	三	五	八
七	二	五	
一三	五	一〇	八
三二	五	二五	一
三七	五	二五	一

(一) 低温地栽培ニ依ル雜種第四代以後系統育成試驗

一、目的 低温地栽培ニ適スル早熟多収種ヲ育成セシメカ  
シメ 雜種第四代以後ノ系統ヲ處理シ末固定系統生  
産力檢定試驗ニ供スベキ系統ヲ育成セシトス  
二、試驗方法

(一) 供用面積 一及六畝ニ。步

(二) 供試組合数及系統数 三組 二七四系

(三) 試驗區 一區制 一區面積 一坪四合

(四) 標準區 標準區ハ供試系統数一區毎ニ一區配置

三、試驗經過ノ概況

本試驗ノ右系統ハ五月十一日 苗代ニ播種シ六月  
十五日 播種セリ、 苗代中ノ生育ハ順調ニシテ特

証スベキ故障ヲ認メズ 本田ニ於テハ 播種當時  
低温ノ夕メ一時生育阻害セラレシモ其後ノ氣候  
良好ナリシ夕メ生育順調ニ進ミ出穂モ平年ヨリ  
稍早カリシカ出穂後氣候不順ニシテ成熟ヲ妨ケ  
ラレタリ 然レトモ本試験ニ於テハ稍熱病、碎麻  
葉枯病比較的少ク又倒伏セルモノナカリキ

四、試験成績ノ概況

各系統ノ圃場觀察及特性調査ニ基キ固定状況ヲ  
確カハルト共ニ優良系統ノ選抜ヲ行ヒタリ



(一) 北正四交一 (冊) 芝坊主 (次) 坊主号ニ於テハ早熟系統比較的多ク多収系統少ク

シテ以テ選抜ニ當リテハ草丈出穂期ノ畧ハ固定セシ早熟系統ヲ多ク選  
抜セリ而シテ系統数ハ早熟系統一五、多収系統六系ナリ

(ii) 北大正二四交二 (iii) 坊主六号 (iv) 坊主六号 (v) 坊主五号  
 統二一系選抜セリ  
 (iii) 北大正二四交三 (iv) 坊主六号 (v) 坊主五号  
 統三系ヲ選抜セリ

以上各組合ノ系統選抜ノ成績ヲ概括表示スルバ右ノ如シ

計	第四代	第四代	第四代	交配組合		親系統數	系統數	選抜系統數	概評
				母	父				
	坊主六号	坊主六号	坊主二号			二九	一一四	一一	早熟系統多キモ多收系統少シ
	坊主六号	坊主五号				三二	一一五	一一	早熟系統多キモ多收品質良好ナル系統多シ
	坊主六号	坊主一号				五	二五	三	早熟多收系統多キモ品質良好ナル系統アルヲ認メタリ
六六						二七四		四五	

五部

目的 低温地栽培ニ依ル末固定系統生産力檢定試験

コニカタメ雜種第四代以後ノ優良末固定系統ニ就キ  
 直接播法ニヨリ収量調査ヲ行ヒ以テ新品種決定試験  
 = 供スベキ系統ヲ選定セントス

二 試驗方法

(i) 供用面積 六畝一五歩

(ii) 供試組合數及系統數 三組 六一系

(iii) 試驗區 一區制 一區面積 三坪

(iv) 標準區 標準區ハ供試系統數一區毎ニ設置

三 試驗經過ノ概況

本試驗ノ各系統ハ五月十八日本田ニ直接シテ萌芽良

整ナリシモ五月二十四日ノ強風ノシメ稚苗ノ倒伏散乱ニ被害ヲ蒙  
 リタルモノアリタリ其後ハ氣候良好ナリシメノ生育順調ニシテ特記スベキ  
 故障ナク出穂モ平年ヨリ多少早カリシカ出穂後氣候不順トナリ  
 稍熱病(胡麻葉枯病)ハ発生増加シ又成熟期ニ近ヅクト共ニ倒伏ヲ生ズルモノア  
 ルニ至リ乍併生育及成熟ノ經過ハ大体順調ト称シ得ベシ  
 四 試験成績ノ概括

各系統ノ圃場觀察 特性及収量調査成績ヲ綜合考察ノ  
 上優良系統ノ選抜ヲ行ヒタリ

(1) 北大正一四交一 (母坊主一 父坊主二)ニ於テハ早熟系統比較的多ク 多収系統少シ  
 而シテ早熟系統一三 多収系統五系選抜セリ  
 (2) 北大正一四交二 (母坊主二 父坊主三)ニ於テ早熟系統ナキモ多収ニシテ品質良好ナル系  
 統比較的多シ 而シテ多収品質良好ナル系統二一系選抜セリ

北大正一四交三 (母坊主六 父坊主七)ニ於テハ早熟多収系統ナキモ品質良好ナル系統ア  
 リタリ 而シテ品質良好ナル系統ニ系選抜セリ  
 以上各組合ノ系統選抜ノ成績ヲ概括表ニスレバ右ノ如シ

試験表	世代	交配組合		供試系統	選抜系統	概評
		母	父			
第百目	第四代	坊主一	坊主二	二六	一八	早熟系統多ク収量多キモ少シ
	合	坊主一	坊主三	三〇	一一	早熟系統ナキモ多収品質良好ナル
	合	坊主六	坊主七	五	二	早熟多収系統ナキモ品質良好ナル
計				六一	四一	

(6) 交配用母本栽培

低温地栽培ニ依ル交配用品種走坊主外十四品種ヲ  
 栽培ニ交配操作ニ供用シタリ

(二) 特殊試験

播種期、出穂期並成熟期ニ及ハス影響ニ関スル調査

一目的 水稻直播法ヲ行フニ當リ其播種期節、出穂期並

成熟期ニ及ハス影響ヲ調査セントス

二 試験方法

(1) 供用面積 一及三畝一〇歩

(2) 供試品種数及名称 八品種

一 早生坊主 二 胆振早稻 三 走坊主 四 魁

五十勝黒毛 六坊主六号 七坊主二号 八 千三坊主号

(3) 播種期 八期節

一期 二期 三期 四期 五期 六期 七期 八期

五月七日 五月十日 五月十三日 五月十六日 五月十九日 五月二十二日 五月二十五日 五月二十八日

(4) 耕種法 直播耕種法ニ準ル

三 調査経過ノ概況

本調査ニ於テハ稻ノ生育ハ一般ニ良好ニシテ作況ハ平年ト大

差ナラキ只試験中泥負虫発生シ又鳥害ヲ被リ又稻

熱病、胡麻葉枯病ハ穂孕期又ハ出穂後発生シ試験區ヨリテハ

被害ノ激甚ナルモアリ 第一期播種ニ於テハ灌漑水ヲ得セト他ハ

サリシクノ設計ノ播種期節タル五月一日ニ播種スルコトヲ得ズ 五月七日

ニ播種シタリ

斯クノ他ク障害アリモ夫々防除又通風ノ處置ヲ行ヒタルヲ試験

ニ比較的故障少ク本年初メテ各種ノ調査ヲ行フコトヲ得タリ

四 調査成績ノ概括

前々年調査ニ於テハ圃場不均一ナリト試験ニ諸種ノ故障ヲ  
生シ具体的ノ成績ヲ報告スルコト能ハズ僅カニ觀察ヲ報告スルノ止  
ムナキ有様ナリシカ 本年ハ試験ニ比較的故障少カリシヲ以テ觀察不  
並ニ調査成績ヲ報告スルコトヲ得ベシ

各品種ノ播種期節ノ早晚ニヨリ出穂期並ニ成熟期ニ及ボス影  
響ハ前年ノ觀察ト大体ニ於テ一致シ播種期ノ遅ルニ從ヒ出  
穂期並ニ成熟期モ遅延スルヲ示セリ 而シテ其遅延状況ハ各品  
種共第一期ヨリ第三期迄ハ一日―四日間ニシテ概シテ少キモ第四期ヨ  
リ播種期ノ遅ルニ從ヒ次第ニ出穂期並ニ成熟期ノ遅延ヲ増大  
シ成熟期ニ於テハ品種ヨリ相異アレトモ第六期又ハ第七期ヨリ未熟  
ノマ、經過セリ 而シテ出穂期並ニ成熟期ノ遅延スル日数(但シ成熟期

ニ違ヒヤルモノハ別問題ナリ)ハ播種期節ノ遅延日数ヨリ遙ニ少キヲ示セリ  
播種期節ノ早晚ハ箱ノ生育日数ト関係ヲ有シ播種期節ノ  
遅ルニ從ヒ生育日数ノ短縮セラルヲ示ス(但シ成熟期ニ違ヒヤルモノハ  
別問題ナリ) 而シテ其日数ノ短縮ハ主トシテ播種期ヨリ出穂節ニ  
至ル期間ニシテ出穂節ヨリ成熟期ニ至ル期間ハ短縮セラルコトナク  
寧ロ延長セラル、傾向アルヲ認メタリ

播種期、後シニ後カ生育日数短縮セラルトシ其短縮多ク期多ク播種ヨリ出穂節迄ニ  
至ル日数アルカ好シ

早生播種 1号ノ有量収量 1300  
遅生播種 2、300

昭和四年度気象表 観測所 旭川市 北海道廳立旭川測候所

旬別	項目																			
	平均気温		最高気温		最低気温		降水日数		降水量		日照時数		湿度							
一月	上旬	八.三	下旬	九.六	上旬	三.六	下旬	四.四	上旬	一.五	下旬	一.三	上旬	八.五	下旬	八.九	上旬	八.三	下旬	八.六
二月	上旬	八.四	下旬	九.一	上旬	三.五	下旬	四.四	上旬	一.四	下旬	一.五	上旬	八.八	下旬	九.二	上旬	八.四	下旬	八.八
三月	上旬	九.一	下旬	九.七	上旬	四.一	下旬	四.九	上旬	一.三	下旬	一.四	上旬	九.一	下旬	九.五	上旬	八.八	下旬	九.一
四月	上旬	九.六	下旬	十.一	上旬	四.六	下旬	五.一	上旬	一.二	下旬	一.三	上旬	九.六	下旬	十.一	上旬	九.一	下旬	九.六
五月	上旬	十.一	下旬	十.六	上旬	五.一	下旬	五.六	上旬	一.一	下旬	一.二	上旬	十.一	下旬	十.六	上旬	九.六	下旬	十.一

旬別	項目																			
	平均気温		最高気温		最低気温		降水日数		降水量		日照時数		湿度							
六月	上旬	十.六	下旬	十一.一	上旬	五.六	下旬	六.一	上旬	一.〇	下旬	一.一	上旬	十.六	下旬	十一.一	上旬	十.一	下旬	十.六
七月	上旬	十一.一	下旬	十一.六	上旬	六.一	下旬	六.六	上旬	一.〇	下旬	一.一	上旬	十一.一	下旬	十一.六	上旬	十.六	下旬	十一.一
八月	上旬	十一.六	下旬	十二.一	上旬	六.六	下旬	七.一	上旬	一.〇	下旬	一.一	上旬	十一.六	下旬	十二.一	上旬	十一.一	下旬	十一.六
九月	上旬	十二.一	下旬	十二.六	上旬	七.一	下旬	七.六	上旬	一.〇	下旬	一.一	上旬	十二.一	下旬	十二.六	上旬	十一.六	下旬	十二.一
十月	上旬	十二.六	下旬	十三.一	上旬	七.六	下旬	八.一	上旬	一.〇	下旬	一.一	上旬	十二.六	下旬	十三.一	上旬	十二.一	下旬	十二.六

十二月			十一月	
下旬	中旬	上旬	下旬	中旬
165	163	137	112	99
176	163	133	108	115
192	156	96	134	153
193	119	96	155	166
197	163	144	171	182
191	110	76	149	161
11	8	5	6	8
8	8	8	8	7
34	42	18	24	43
36	36	39	39	42
19	28	25	26	16
17	16	20	16	24
8	8	8	8	9
8	8	8	8	8

備考 累年八明治四十三年ヨリ 昭和三年ニ至ル十九年平均ナリ

融雪期	根雪期	初雪期	晩霜期	初霜期	本年	累年	備考
四、一二	一、二九	一、一一	五、四	九、二二	九、二二	一、〇、二二	北海道農事試験場支場観測